

第2回 鴨川(小泉)水辺再生検討会が開催されました。

〔開催概要〕

開催日:平成22年9月6日(月) 9:30~12:00

場所:鴨川(小泉)、小泉集会所

出席者:地元自治会の代表、県民提案者、上尾市、埼玉県 ほか

主な内容:1. 現地調査(鴨川(小泉))

2. 第1回検討会内容の確認

3. 鴨川(小泉)の現況の再整理

4. アンケート調査の実施状況について

5. 鴨川(小泉)の現況と課題の分析

6. 鴨川(小泉)の課題と整備メニュー(案)について

7. 今後の検討会のスケジュールについて



第2回検討会の様子

第2回検討会の概要

1. 現地調査

- 鴨川(小泉)の現況確認のため、現地調査を行いました。



現地調査の様子1



現地調査の様子2

2. 第1回検討会内容の確認

- 第1回検討会で出された質問や意見への回答を事務局が説明しました。小泉土地区画整理に伴ってできる調整池との連携については、調整池の構造などの計画がまだ固まっておらず、調整が難しいため、今回の検討会では切り離して考えることとなりました。

3. 鴨川(小泉)の現況の再整理

- 現地調査の振り返りを含め、鴨川(小泉)の現況の再整理を行いました。出席者からは以下のような質問・意見があげられました。

〈河道内の木杭について〉

- ・ フナが木杭のところに卵を産みつけるため、よいと思う。
- ・ 今の杭は残した方がよい。

〈用地について〉

- ・ 左右岸で、整備ができる用地はどれくらいか。
- ・ 籠マットなど構造物が入っていて、整備ができないところなどを示してほしい。

〈左岸側の整備について〉

- ・ 左岸側に歩道が造れない、緩傾斜にすることができないとなると、左岸側に親水性をもたせることができないのではないか。
- ・ 歩道を造るのには市の道路管理者との調整が必要である。
- ・ 河道を右岸側に寄せ、左岸側の傾斜を緩くできないか。
- ・ デッキと階段を整備し、そこから川に降りられないか。
- ・ 左岸側を緩傾斜にすることは河道の断面形状として、難しいと思われる。



第2回検討会の様子

〈調整池との連携について〉

- ・ 調整池を深くし、土地が余るのであればそこを親水公園にできないか。
- ・ 水辺再生事業での趣旨を調整池の整備に反映してもらえるよう、呼びかけができるのではないか。
- ・ 計画が決まっていない調整池との連携は非常に難しいと思われる。

〈散策路の整備について〉

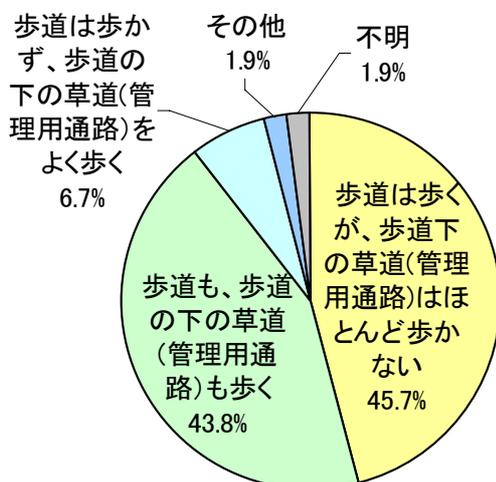
- ・ 右岸側の管理用通路を散策路として整備できないか。
- ・ 草が生えないようにしただけの、簡易舗装の散策路がよい。

4. アンケート調査の実施状況について

- アンケート調査の実施状況として、8月25日時点での調査結果の速報を事務局が説明しました。8月25日時点では164通の回答があり、回収率は25.2%でした。

Q. 鴨川沿いを歩く際はどこを歩きますか？

Q. 川沿いは散歩しやすいですか？



【散策しやすいと答えた人の回答理由】

- ・ 車両等に注意しなくて良いから。

【散策しにくいと答えた人の回答理由】

- ・ 雑草の繁茂の時期は歩きづらいから。
- ・ 一方通行の道は川を見ていると車にひかれそうになるから。
- ・ 汚くて、見通しが悪かったりして危険だから。

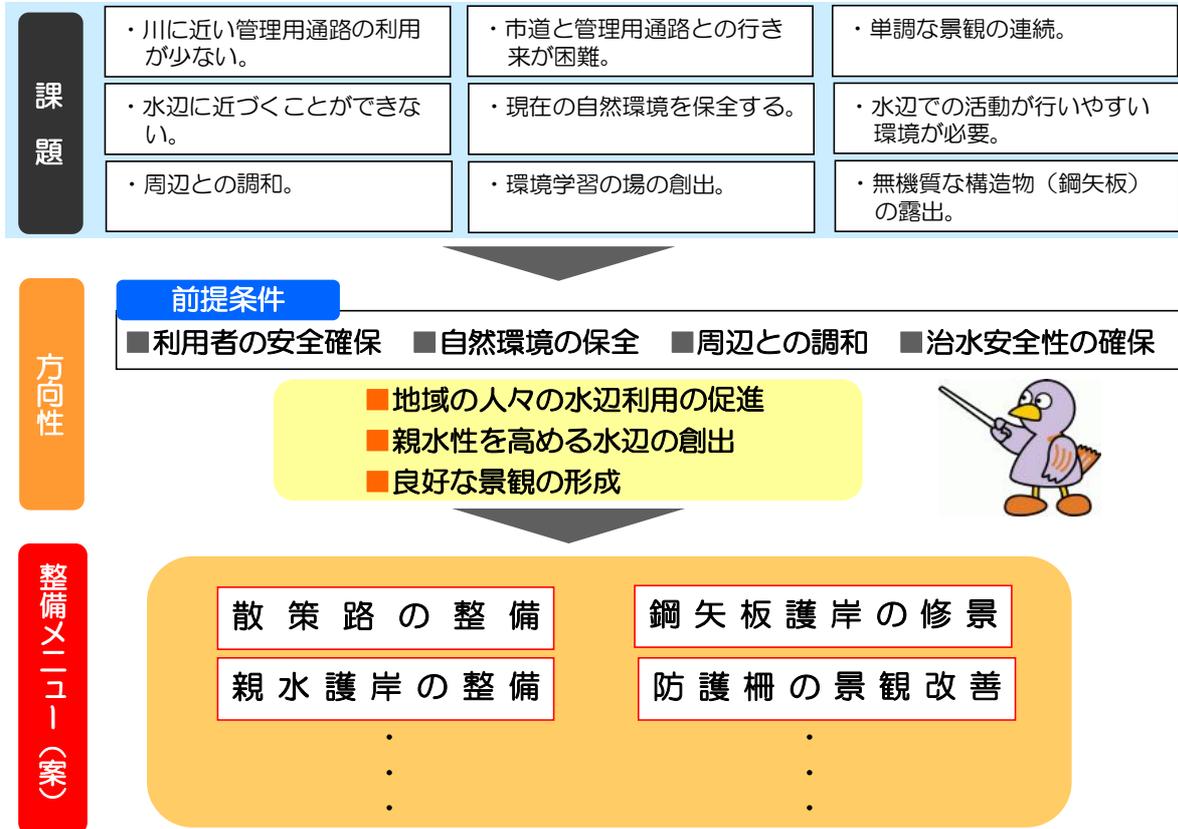
事務局によるアンケート調査結果 速報 (一部抜粋)

5. 鴨川(小泉)の現況と課題の分析

- 鴨川(小泉)の現況から考えられる課題を事務局が説明しました。

6. 鴨川(小泉)の課題と整備メニュー(案)について

- 鴨川(小泉)の課題に対応する整備メニューの案を事務局が提案しました。



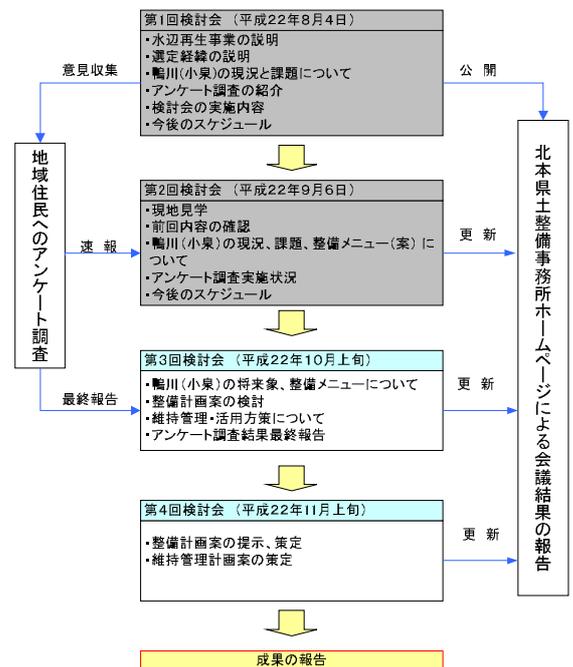
鴨川(小泉)の課題と整備メニュー(案)

- 鴨川(小泉)の課題と整備メニュー(案)については出席者から以下のような質問・意見があげられました。

- ・ゲリラ豪雨が降った場合はどうなるのか。
- ・親水護岸とは、どのようなものか。イメージがわからない。

7. 今後の検討会のスケジュールについて

- 右図の通り、今後の検討会の実施予定を説明しました。第3回検討会では整備計画案を検討します。



検討会実施フロー